

イデックスオイルレポート ~For a week~

2022/1/21作成 (株)新出光

【概況】<利益確定の動きもあり上昇の動きが限定>

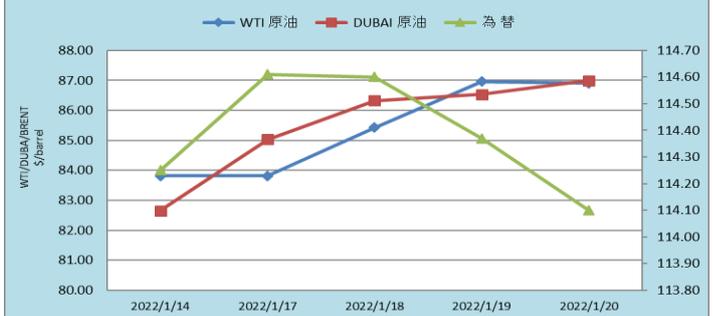
- 14日、高値圏での推移となり利益確定の売りが出て小幅マイナス圏に沈む場面もありましたが、需給逼迫懸念や先高観が根強く、再び買いが勢いづき上値を試す展開となったようです。
- 17日、WTI原油相場はキング牧師誕生日のため休場。
- 18日、サウジアラビア主導の連合軍がイエメンの親イラン武装組織フーシ派の拠点を空爆したことで、中東情勢への警戒感などを背景に急伸しています。OPECが公表した月報で、加盟国の昨年12月の産油量は全体で前月比16万バレル増(約0.6%増)の日量2788万バレルとなりました。複数の国が生産目標を大きく下回っており、石油の供給不足が鮮明となったことで需給引き締め観測が強まり、原油買いの流れが継続しています。
- 19日、イラクからトルコの輸出港への送油管で爆発があり、原油輸送が一時停止しました。これを受けて供給が一段と逼迫するとの懸念が強まり、原油の買いが先行、また中東での地政学リスクをめぐる警戒感も根強く、WTI原油相場は一時87.91ドルまで上昇しました。
- 20日、利益確定の動きがあるものの、地政学リスクに対する警戒感や供給逼迫への懸念も依然として強く、下値は限定的でした。米エネルギー情報局(EIA)が発表した週間在庫統計では、原油在庫が50万バレル増と、市場予想の90万バレル減に反して増加、ガソリン在庫は590万バレル増(予想260万バレル増)と大幅な積み増し、ディスティレート(留出油)は140万バレル減(予想90万バレル減)と、強弱まちまちの内容で相場の反応は小幅の値動きに終始しました。

1月21日 17:00現在 WTI原油 84.03ドル 為替 1ドル 113.92円

国内石油製品在庫 1月15日時点 単位:万kl



ドル/bbl WTI・DUBAI / 為替 関連グラフ 単位:円



次回元売変動予測

	1/27~	元売変動予測
ガソリン	➡	+2.0~+2.5
灯油	➡	+2.0~+2.5
軽油	➡	+2.0~+2.5
A重油	➡	+2.0~+2.5
LSA	➡	+2.0~+2.5

【製品卸価格】<補助金適用が現実味>

◀今週▶ 今週の元売り仕切り改定は3社ともに「+2.0円」の値上げ改定でした。1月に入り右肩上がりの原油相場となっており、今回分を含め9円のコストアップとなっています。その為、月間玉の販売のタイミングが難しく、前回の1月13日以降分の改定後より、少しずつ販売を進めてきている動きが見受けられます。今回も改定後から月間玉の販売が一層厚みを増してきています。

◀1月22日以降▶ 次回の元売り改定は、現状の原油コストで「+2.0~+2.5円」の値上げ改定予測です。本日原油価格は少し下がりましたが、中東での地政学リスクへの懸念や需要に対する産油国の供給不足などにより、原油相場は上昇を続けてきました。しかし、次回の改定に補助金の適用の可能性があるとの一部の見方が業者間のやりとりで広がっており、補助金適用により週決め玉の仕入れが下がった場合、月間玉の販売は不利になると考え、週末での売り切りを目指した販売が各地で進んでいます。そのため市況価格も場合によっては前日比-0.5円程度値下げして対応するなど、焦り売りの色が見えてきました。他社の枠の残り具合は判然としませんが、週明けも一層売りが強まることが予測されます。

※現段階の原油コストによる予想です。

【次世代エネルギー】<水素燃料電池推進の法人設立>

昨年11月に山梨県内の企業などが水素燃料電池事業を推進しようと一般社団法人「FCyFINEPLUS」(エフシーファインプラス)を設立しました。県内では県や大学、企業がそれぞれ水素燃料電池分野で事業化に向けた取り組みを進めています。山梨県では再生可能エネルギーを使ってCO2を排出しない「グリーン水素」を製造しており、脱炭素に繋がるグリーン水素の需要拡大を目指すものの一つとして、燃料電池を搭載した電動アシスト自転車の実用化を実証しています。余剰電力を水素などのガスに変換することをPower to Gasといい、余剰エネルギーを水素に換えておけば、必要な時・場所・目的で利用することが可能となるため、水素を活用した事業展開を協力して実証しています。

【出典】

- ① <https://www.nikkei.com/article/DGKKZO78507190W1A211C2L83000/>
- ② <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOCC083590Y2A100C2000000/>